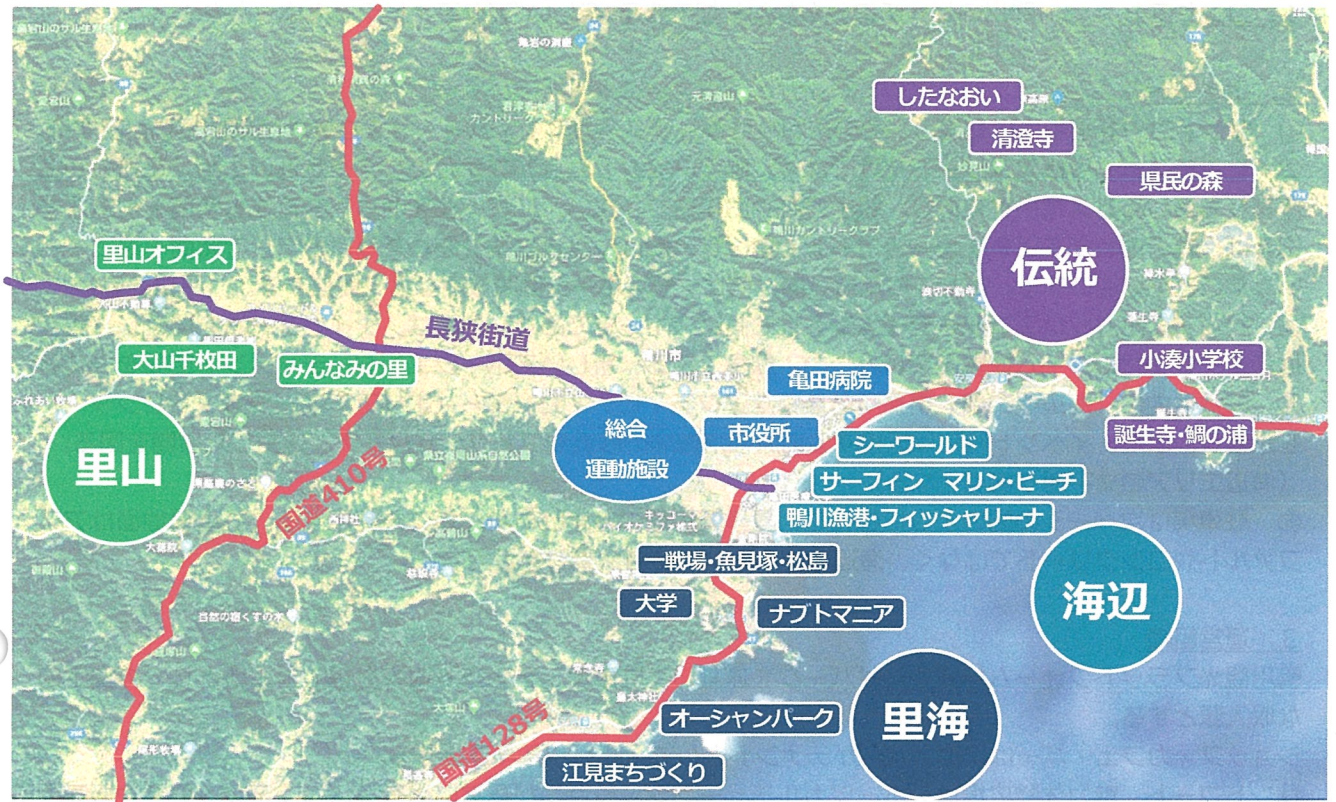


エリアごとのテーマ設定



海辺にフォーカスすると...



(仮称) 鴨川ビーチパーク 構想

1. コンセプト 鴨川のビーチにみんなが参加できる“楽しい”アクティビティスポットを！

2. ポイント

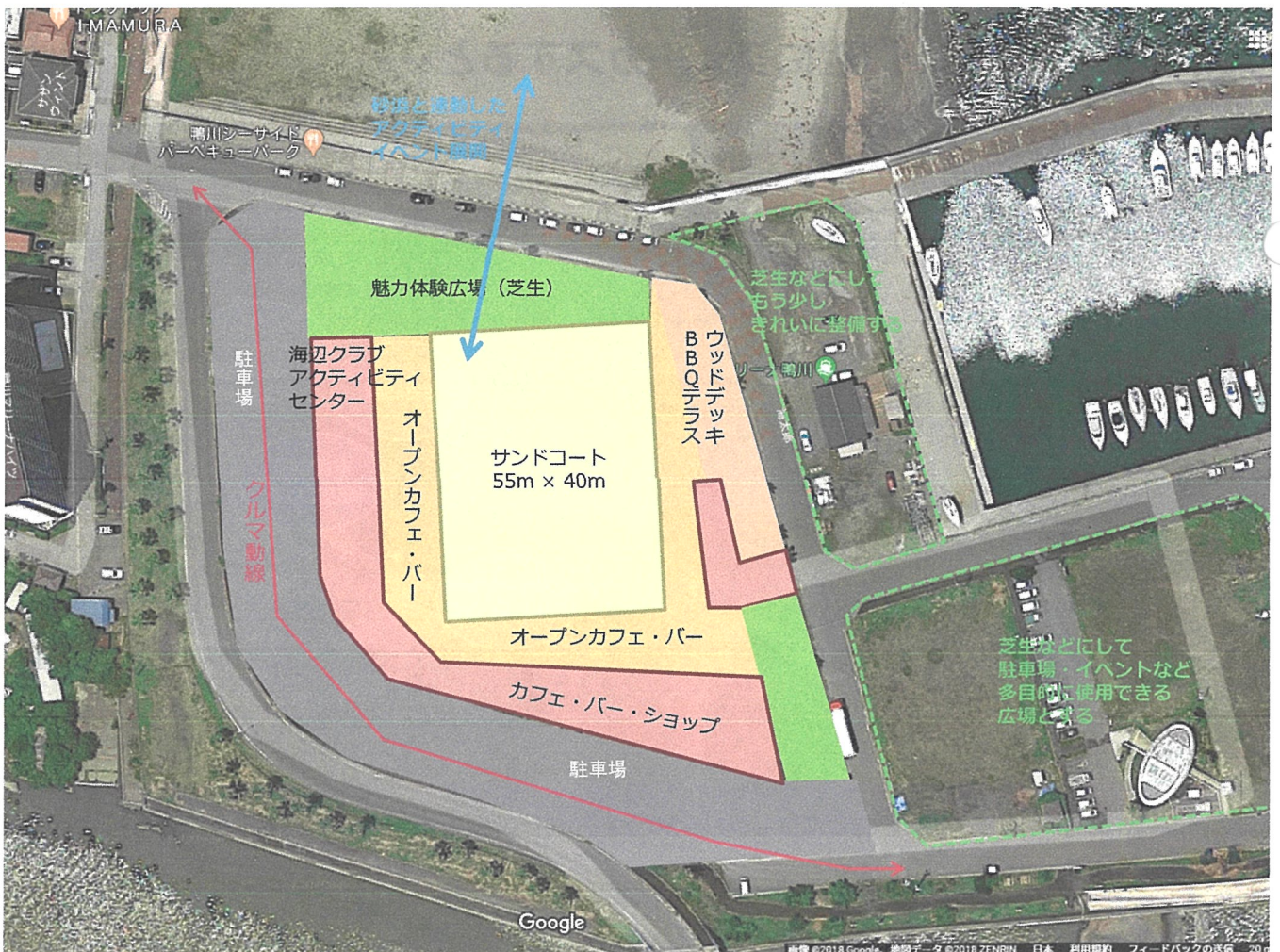
- ① **サンドコート**を中央に配置し、そのまわりにショップ・カフェ・バー・BBQ等の商業施設を配置する
- ② ビーチスポーツはアスリートだけでなく、砂というクッションでケガのリスクが低いため、**子どもやお年寄りも楽しめるスポーツ**であり、親子連れやお年寄りが集い、スポーツを通じて交流する空間を創造する。例えば、親子連れが子どもをビーチコートで遊ばせ、親はショッピングをしたり、カフェで時間を過ごすといったことを可能にする。また、お年寄り向けにビーチスポーツ健康教室などを開催する。(平日稼働)
- ③ ビーチスポーツは**エンターテインメント性**も高いスポーツであり、例えば、ナイトゲームを開催し、観客は音楽・DJ付のゲーム観戦を楽しみつつ、飲食できる、新しいスポーツエンターテインメント空間をつくる。
- ④ 同敷地内に「海辺倶楽部」事務所を兼ねたアクティビティセンター(エリアマネジメントセンター)を設置し、また、イベント時には近接する前原横渚海岸の砂浜やフィッシャリーナと連動した展開を図る。(海辺エリアの文字通り拠点となる)
- ⑤ 駐車場は次ページの図のように整備し、夏季繁忙期の海岸駐車場としても利用する。駐車場地面はアスファルトやコンクリートではなく、海辺の魅力を高める自然素材を活用する。

3. 運営組織

鴨川観光プラットフォーム株式会社がパークを運営し、駐車場・テナント収入を得て、組織としての安定的な収入源とする。

ショップ・カフェ・バーは民間事業者がテナントとして入庫し、各々運営する。

サンドコート、魅力体験広場はスポーツカルチャーコミッションが運営に当たり、コンテンツ開発や販売促進などを行う。また、アスリート雇用を実現し、スポーツ文化の醸成を図る。



ウエルネスシティ鴨川 構想案

2018年11月17日
岡野 大和

1. ビジョン

ウエルネスシティ鴨川

【ウエルネスシティ鴨川とは・・・】

人々・地域社会が健康・健全・幸福であること

- ① 鴨川市に住まう人々、訪れる人々が心身ともに健康で、輝く人生を実現する場所
- ② 持続可能で健全な仕組みが絶えず循環し、地域社会の幸福を実現する場所

2. ミッション

“良質な日常”に提供のよる、新しいライフスタイルの提案

日常に新しい意味や価値を付したコンテンツやサービスを提供し、ライフスタイル、価値観の多様化が進む時代をさらに先んじた新しいライフスタイルを鴨川から提案、実現していく。

このミッションを遂行するにあたって、3つの軸としてスポーツ、カルチャー、ツーリズムに注目し、それらを融合し、鴨川に新たな価値を生み出していく。

3. プロジェクト

① スポーツ・カルチャー・コミュニティ

スポーツ、カルチャーを活かした事業を戦略的に展開する事業体、すなわち「スポーツ・カルチャー・コミュニティ」を平成31年4月を目途に創設し、官民一体となった企画・運営を推進する。

(1) スポーツ・カルチャーの大会・合宿誘致事業

(2) 鴨川市総合運動施設をはじめとする公共施設の指定管理・整備

(3) **スポーツ×カルチャー×ツーリズム (ライフ)** を融合させた新たな仕組みづくりの創造・事業展開という3つの事業を柱として活動を展開していく。特に、3番目の事業はこのコミュニティがもつ極めて前衛的なミッションであり、「ウエルネスシティ鴨川」を実現する推進力となる。

② ウエルネスツーリズム (ヘルスツーリズム) による平日における程良いツーリズム体験

今後、ライフスタイルは多様化し、時間や曜日、場所といった概念は大きく転換していくことになる予想される。働き方は人それぞれとなり、平日に休みを取り、リフレッシュにでかけたり、アクティビティに興じたり、あるいは1日の中でも、ローキングとアクティビティなどの時間が混ざるような生活を送る人も増えていくと考えられる。

例えば、朝、東京からWiFi付の高速バスで車内で仕事をこなしながら鴨川にやってきて、鴨川でサーフィンやアウトドアを楽しむ、ローキングスペースで再び仕事をし、鴨川の食を楽しむ、再び東京に戻るという仕事・生活の仕方も現実的に可能な時代となってきている。

また、企業には社員が心身ともに健康で職務を遂行するいわゆる「健康経営」が求められ、厚生労働省も制度をつくり、平日のヘルスツーリズムを社員の福利厚生、健康増進として推奨、補助を出している民間企業も増えてきている。

それらのニーズ、時代のトレンドを汲み取り、ウエルネスツーリズム (ヘルスツーリズム) のプログラムを整備し、特に企業向けに展開することは、平日に程良い来訪者が期待され、ウオリターの高いサービスが提供されるほか、地域や環境に対する負荷を軽減することもできる。また、企業向けのサービスであれば、収益性も確保され、経済的にも持続可能な仕組みを構築できるものと考える。

鴨川市はスポーツ・カルチャー・コミュニティを企画・運営事業体として、前項(3) **スポーツ×カルチャー×ツーリズム (ライフ)** を融合させた新たな仕組みづくりの創造・事業展開のの一つとして、平日における (特に企業向けの) **ウエルネスツーリズム (ヘルスツーリズム)** を展開する。

③ エリアごとにコンセプトを設定した上での拠点整備

鴨川は大きく、鴨川地区 (市街地)、長狭地区、江見地区、天津小湊地区の4エリアに分けられる。

エリアごとの特徴、資源をしっかりと把握し、それらを活かすコンセプトを設定した上で、エリアごとの拠点整備を推進し、そこをHUBとして地域に広がっていく人の流れをつくっていく。

(1) 鴨川地区 = 海辺 = ウォーターフロントである海辺エリアの再整備 / リン・ビーチスポーツ

(2) 長狭地区 = 里山 = みんなの里・里山オアシス / アウトドアスポーツ

(3) 江見地区 = 里海 = 歴史的な絵巻き町・大海をヒントにしたカルチャー空間としての整備

(4) 天津小湊地区 = 歴史 = 日蓮上人に代表される寺社、海も山もあるコンパクトなエリアにおけるコンパクトづくり

4. 具体的な拠点整備 (整備順)

① 鴨川地区：ライフシャワー ※別紙参照

ライフシャワーは別紙のようなビーチスポーツパークを整備し、鴨川の海辺の象徴である前原横濱海岸と運動したビーチスポーツの聖地としてブランディングを図る。

ビーチスポーツは子どもからお年寄りまで取り組みやすく、アスリートだけでなく、市民の健康づくりにも十分に活用できる。ビーチスポーツパークは鴨川観光プラットフォーム株式会社 (ハード部分：駐車場・テナント貸し働き)、スポーツ・カルチャー・コミュニティ (ソフト部分：プログラムの企画、施設の活用・運営) によるハイブリッド型のジョイント事業体によって運営され、現場にはアスリートを積極的に雇用し、アスリートにとってもスポーツを続けながら、まちづくりを仕事として活躍できる環境を整備する。

② 鴨川地区：マルキポイント

サーフィン発祥の地・鴨川の中でもとりわけ有名なサーフポイントであるマルキポイントでは土日ばかりとより、平日にも多くのサーファーが訪れており、すでにマリンスポーツのメッカとしての立ち位置を確立している。国際的な大会が行われ、多くの人で賑わうことも少なくない。

しかしながら、現在マルキポイントは駐車場も無料で、トイレやシャワーで無料で提供しているという

状況であり、鴨川にとつての貴重な収入源を失っている。また、サーフサーも鴨川市内の飲食店などの情報に疎く、サーフイベントをそのまま閉ってしまうという機会損失も発生している。

レレキポイントには、トレーラーハウスなどでインフォメーションを設置し、そこに鴨川観光プラットフォーム株式会社やスポーツ・カルチャーコミッションのスタッフ（マリンスポーツアスリートが望ましい）を常駐させ、鴨川市内のインフォメーションを積極的にを行い、市内への送客を図るほか、陸軍場・シャワー（温水シャワー化する）の有料化により、同インフォメーションの自走を実現する。

③ 天津小湊地区：小湊小学校跡地 ※別紙参照

平成 31 年 3 月で閉校する小湊小学校跡地には、スポーツ・カルチャーを柱とする拠点を整備する。

既存の鴨川市総合運動施設や内浦山県民の森などの施設と連携し、これまで市内に少ない二ツチなスポーツやカルチャー分野に注目した施設整備を行うことで、絶対数は少ないながら、極めてヒット率の高い分野の大会・合宿誘致を図ることができる。

また、あわせて、セミナーハウス、地域のコミュニティーセンターとしての機能、地産地活をコンセプトとしてレストラン・カフェ、レンタルなどを提供し、地域内外の人々、多世代、親子などが集い、交流する空間を実現する。

④ 鴨川地区：鴨川市民会館

前原横須海岸に面した鴨川市民会館周辺のエリアについては、国有地も含まれることから、国と折衝した上で（必要に応じて国有地を市が譲り受ける）、マリン・ビーチアクティビティセンター&パークを整備する。

先行して整備するマリンシャワー後背地、レンタルポイントと連携して、海辺の新たなまちづくりを推進するメインの拠点とする。

⑤ その他

- 周辺地域とも連携した、統一的なメニュー（料金、乗り捨てなど）によるレンタサイクルネットワークの整備
- Eバイクの整備（レンタサイクル）
- 太平洋岸自転車道整備事業や自転車活用法による、ブルーライン、サイン、マシーンの整備
- みんなみの里の地域拠点強化
- 里山オアシスに交流カフェなどを新設し、交流機能強化

前原横渚海岸現況の問題点

- 1、路上駐車による景観の破壊、安全の阻害（特に夏季）
- 2、海岸に漂着するごみ、特に荒天の際の河川よりのごみ
- 3、夏季期間中の遊歩道におけるバーベキュー
- 4、フィッシャリーナ後背地（埋立地）の地盤調査
- 5、フィッシャリーナトイレ隣の土地の利用
- 6、市民会館周辺国有地の払い下げ

同海岸に対する要望

- 1、駐車場（特にイベント時）
- 2、防波堤の整備（絵を描く）
- 3、マルシェ、朝市（購入したものをその場で食べれる飲食店）
- 4、アクティビティスペース
 - *スケートボード、ボルダリング、3on3コートなど若者が遊べる施設
- 5、全天候型のドックラン
- 6、公園の設置（市民会館脇より移設）
- 7、バーベキュースペース
- 8、チャレンジスペース
 - *資金が不足している若い経営者の出店を促すためのもの
- 9、フィッシャーマンズワープ
 - *漁師の作るめし屋など
- 10、入浴施設
- 11、セグウェイの導入と運行路の整備

前回の提案への質問

- 1、荒天後の砂の整備
- 2、管理及び運営は誰がするのか？
- 3、サンドコート利用者の集客は誰がするのか？
- 4、サンドコートを利用しない際の、周りの飲食店は営業できるのか？
- 5、

持続的・地域貢献活動実習I(2018-2019) グループ活動計画書

2018年12月1日作成

<p>【1】企画テーマタイトル</p>	<p>マルチアクティビティツアー</p>
<p>【2】企画の概要</p>	<p>・サイクリングをベースにして、山歩きや海でのヨガ・マリンスポーツを組み合わせることで、気軽に楽しみながら、鴨川の良さを楽しみつつ運動できる (1日に1個くらい) ・「食」をサブテーマに、山で山菜等をとったり、鴨川ならではの食材を生産者等から話を聞きつつゲットするなど、ストーリー性のある食を楽しむ。(地元の方ともつながれる) 上記をベースに、サイクリング×アクティビティ×鴨川の食を組み合わせたツアーイベントを開催する。</p>
<p>【3】企画の目的</p>	<p>普段運動しないような比較的都会部に住む方々をメインに、自転車や運動になじみがないような方に鴨川に来てもらって鴨川の良さを知ってもらおうきっかけを作ること</p>
<p>【4】今後活動していく具体的な計画と展望</p>	<p>12~2月:アイデアの具体化、計画、費用や必要な準備を考える。 ミライノラボや南房総サイクルツーリズム協会との協力について(との相談)を個々の期間で進めていく。ここでの進行によって運営自体がどのようになるのかも変わってくると考えられる。 2~4月:協力が必要な方々への依頼や、具体的な準備を進める。 4~6月:トライアルの実施等、最終確認をする。 7~8月:この時期の開催を最終目標にして準備する。</p>
<p>【5】関係協力者</p>	<p>ミライノラボ 阿部先生と一度お話ししました。アイデアをこちらとして提案し、アドバイスやサポートをしてもらいながら主導してもらうのはどうかと話し合いました。このことについてはまた話していこうと思います。 南房総サイクルツーリズム協会・林さん</p>
<p>【6】メンバー氏名</p>	<p>足利雛乃・池上亜蘭・梅村佳乃子・加治屋里奈・金谷真汰・忽那遥香・築館崇文・中野未紗・山上玲奈 JPACK生ボユ・ソレン・ユン</p>

*適宜補足したいところは別紙に書き記してください(様式自由)

持続的・地域貢献活動実習Ⅰ(2018-2019) グループ活動計画書

平成30年 11月 20日作成

【1】企画テーマタイトル	鴨川職業体験課外授業(仮)
【2】企画の概要	長狭学園の6年生(23人)を対象に授業の一環として鴨川市の地域資源や鴨川ならではの職業について知ってもらい、鴨川の魅力やその価値を再発見してもらえような授業をつくる。具体的に生徒に触れてもらう職業としては、現在長狭学園のキャリア教育として行われていると考えられる事業所などで職業を体験し将来について考える機会にするようなものとは異なり、鴨川にある神社の神職、鴨川市の派遣されている地域おこし協力隊、NPO法人大山千枚田保存会や良品計画関係者など鴨川であるからこそ触れられる職業や働き方を想定しており、それぞれの職業の視点から見た鴨川について生徒に話をしてもらい、可能であれば最後に生徒に各職業を体験してもらう。
【3】企画の目的	半年間学ばせてもらった鴨川にこれまで学んできたことを還元するというを目的に鴨川の長狭学園の子供たちに鴨川の地域資源や鴨川ならではの職業について知ってもらい鴨川の魅力やその価値を再発見してもらえような授業を行う。また、長狭学園の学校教育目標達成のための方策として「地域とともに歩む教育を推進し、「長狭に学び、長狭を誇り、自立できる子」を育成する」とあり今回の企画はこの方策に即したものである。
【4】今後活動していく具体的な計画と展望	まず、第一に長狭学園に企画している授業を実施するための交渉を行う。その後、現在すでに長狭学園で行われているキャリア教育や体験授業について長狭学園の関係者から話を聞くとともに鴨川ならではの職業の中で生徒に紹介するものとしてふさわしいもの、実現可能性があるものをフィールドワークや住民の方にヒアリングを行うなど調査を行う。具体的な授業計画に関しては長狭学園関係者、協力を仰ぐ関係者と話し合いをしながら作成していく。
【5】関係協力者	長狭学園関係者、地域おこし協力隊(仮)、鴨川市内の神社の神職(仮)、NPO大山千枚田保存会(仮)、無印良品くらしの良品研究所(仮)
【6】メンバー氏名	侯柏宇、長谷川敦子、竹田のゆり、掛谷知海、李薫、鈴木 陸、橋本尚子、岡 ももな、ソレン ポニオ

* 適宜補足したいところは別紙に書き記してください(様式自由)

【拠点の整備】 目的；実際に行政が身を切って手本を示す！

- ① 『リノベーションまちづくり』の拠点の確保
 - ・まちづくりの拠点 ・誰もが集えるカフェ ・地域活動家のサロン
 - ・前原ベース
- ② 運営主体は？
 - ・観光協会？ ・プラットフォーム？ ・鴨川市観光課？
- ③ 国交省の補助金を利用する
 - ・鴨川市が事業主体の場合、国費1/2・鴨川市1/2
 - ・民間が事業主体の場合、国費1/3・鴨川市1/3・民間1/3
- ④ 空き家を10年間借り入れしよう！
 - ・リノベ費用は補助金+ α
 - ・賃料は、小洒落たカフェで捻出しよう！
 - ・建物主所有者のメリットは前述の通り。
 - ※官手動で手本を示す意義は大きい。
- ⑤ ここに地域を変革するあらゆる人が集う。
 - ・城西国際大学 ・千葉大建築学科 ・芸大建築学科 ・地域変革活動家
 - ・文理開成高校 ・優秀な行政官 ・漁業関係者 ・農業従事者 ・他
 - ・首都圏の鴨川フリーク ・サーファー

【他・地域への波及】

- ① 中山間地域
- ② 他の漁村地域
- ③ 村社会の再構築

前原地区・『リノベーションまちづくり』・『ほしい暮らしは自分でつくる』企画

【プロセスのデザイン】ここが一番大切。

・関わる人が同じ方向を向いて、進む事の出来るプロセスをデザインする。

参加者全てがワクワクするようなまちづくり。

1) 企画者 (事業主) 2) 入居者 3) 所有者 4) 行政 5) 協力者

※関わる人全てが、リスクを負い本気で力を合わせる状況を作る。

※欲しい空間は自分で作る！を→欲しい空間は我々で作る！に変えるためのプロセス。

例)

① 『リノベーションまちづくり・ワークショップ』の立ち上げ

主催者；(仮称) 鴨川リノベーションまちづくり委員会

(例えば川上・豊島中心に立ち上げ検討)

参加者；城西大学・芸大建築学科学生・千葉大建築学科学生

事業主希望者・市民有志・海の体験塾・他

協力者；協力企業の募集等

講師；嶋田氏・武田氏等、地域活性化・リノベーションに実績のある人物

② 『ワークショップの開催』

・地域の探検・宝の地図作成！

・本町・新町・芝・昭和・中央通りの“イカした”リノベしがいのある建物の抽出。

・区域別の人口動態調査・路線価の調査

・地域の課題、問題、要望の抽出

・『宝の地図』をもとに、ワークショップにて『架空の事業モデル』をリアルに創る！

グループA・グループB・グループC・他

※事業プランはどこまでもリアルに！シビアに！資金繰りの破綻もしっかりチェック

※ここでは架空だが、数日後に現実に転じることができる！

例) A事業主が所有者から年間20万円・10年契約で建物を借り上げる。(200万円)

A事業主は400万円かけてカフェとしてリノベ+200万円で600万円程度の投資。

カフェ経営者に家賃9万円？で割安に貸。→10年で1080万円

出資者は差額の480万円の利益。出資者が数名の場合、分配する。

所有者の利益は？賃料200万円以外に、10年後に収益物件がただで手に入る♥

しかもリノベーション費用は他人が！

③ 事業主希望者と所有者のマッチング♥

・『リアルガチな事業モデル』を建物所有者にプレゼンする！

ここで、建物所有者の意識が変わる！

(ただの古い建物と思っていた持ち主の目の前に、目を輝かせて魅力を語りプレゼンする若者が出現する！)

・モチロン所有者が乗ってくれなければ、架空のままだが、

それでもリアルな事業モデルが出来上がった事で参加者は自信に繋がる。

・このワークショップの中から、本当の成功事例を創り出す。

・所有者とのマッチングがうまく行ったら、ここから勝負だ！

④ 『事業モデル』第1号の発進♥

・わが町が変わる！近隣の人にも可能性を信じ始める！人の動きが始まる！

2018年12月13日

海辺の魅力づくりを通じた交流のまちづくり推進事業

【H30年度】

- ・プロジェクトマネジメント体制強化
- ・民間事業者参入支援業務
- ・空き店舗等の情報提供及びチャレンジショップの開設支援

豊島

1. H30年度の目標（12/11 確認）

(1) エリア計画

- 前提条件として、①フィッシャーナ、②プロムナード、③市民会館、④文理開成からマルキポイントの順で整備と想定する
- 3月末までに①②③エリアの機能配置案、事業計画案、パースを整備する

(2) 空き店舗活用

- 具体的に活用を開始する。
- 今後の実行計画案を策定する。

(3) 拠点

- 海辺の魅力づくりを推進していく拠点（含む人配置）を整備する。

2. 全体像、支援体制（別紙ご参照）

3. 本日の相談事項

(1) エリア計画

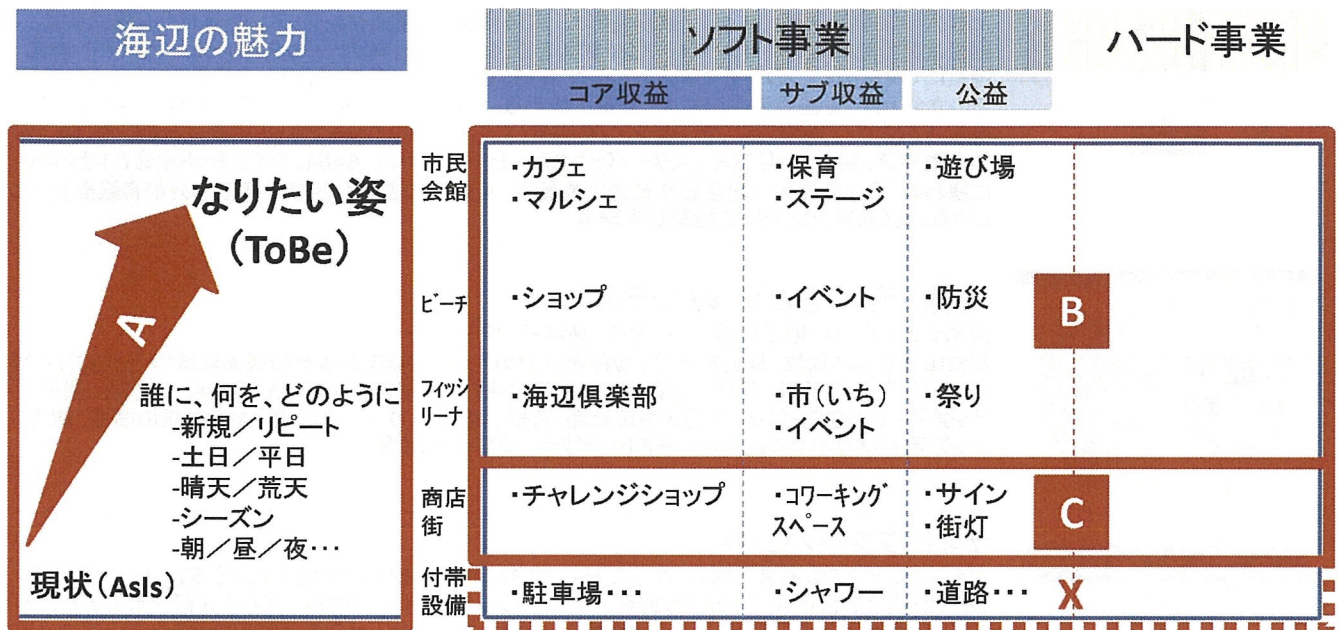
- ・全体スケジュール（別紙）へのご意見
- ・関連情報の提供（市への要望）
- ・直近の活動計画 12/21（ビッグデータ）、12/22（実地踏査）

(2) 空き店舗活用

- ・スケジュール（A18改修完了、来年度以降の開発プラン提示）
- ・A18（？）の物件情報、契約条件の確認開始
- ・コワーキングスペース化
- ・予算（300万円）の流れ
- ・契約者

以上

全体像



A...どんな魅力をつくるか
基本構想、方針
(ターゲット、必要機能)

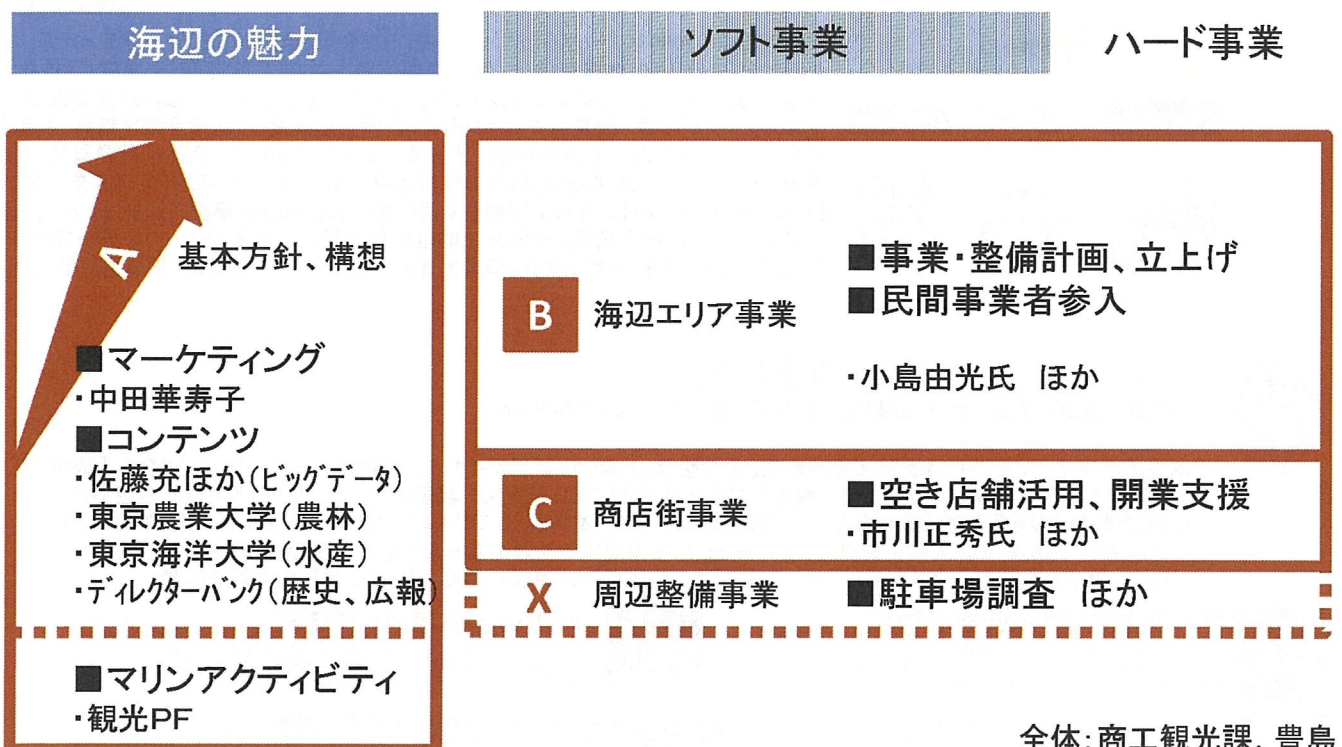
B...海辺エリア事業(事業者、事業・整備計画、実施)
C...商店街事業(個別事業者、計画・整備・開業支援)
X...周辺整備事業(自治体等、整備計画、実施)

注: 事業アイデア等はこれまでの協議を参考に例として記載。今後精査。

2018豊島区観光振興所

3

プロジェクト支援体制



2018豊島区観光振興所

4



中田 華寿子 (なかだ かずこ)

マーケティング全般、PR・コミュニケーション全般、ベンチャー・マネージメント全般
 上智大学文学部卒業。1965年、東京生まれ。広告代理店、電通ヤング・アンド・ルビカム株式会社
 国際営業推進局にて外資系クライアント営業を担当。その後、スターバックスコーヒー ジャパン株式
 会社にてマーケティング・PRマネジャーとして参加。広報室長、執行役員として同ブランドの日本市場
 での立ち上げ、全国規模への拡大、浸透に携わる。株式会社GABA マーケティング部門長・常務執
 行役員を経て、2008年4月 マーケティング部長として5月開業のライフネット生命に入社。2011年より
 常務取締役、2017年6月退任。スターバックスコーヒー ジャパン、GABA、ライフネット生命と3社のIPO
 に携わる。香川県三木町総合戦略策定副委員長、兵庫県加古川公開事業評価の外部審議委員をつ
 とめる。動く政策シンクタンク構想日本理事



佐藤 充 (さとう みつる)

観光ビッグデータ、地域産業、中小企業、地域イノベーション
 福知山公立大学助教、佐倉市出身。豊岡市や海の京都DMOほか各地の観光地域づくりにおける観
 光ビッグデータの活用と課題の実践的研究に取り組む。観光者の発着地や回遊ルート解析、観光
 ビッグデータの収集・解析を担う人材の確保・育成、観光ビッグデータ活用目的と成果の関係、観光
 ビッグデータと消費行動やSNSテキスト・画像データ等の併用等。



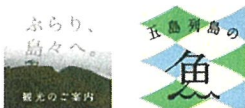
ディレクターバンク

大手WEBメディアの運営に携わってきたディレクターが中心となって設立したデジタルマーケティング
 の企画・運用支援会社。担当は取締役/ディレクターの鶴久氏。1968年福岡県久留米市生まれ。ディ
 スプレイ業界大手の丹青社、ニフティ株式会社のオンラインサービスの運営部門・広告・EC・アフィリエイト・
 パーソナライズ・WEB2.0対応などのサービスの構築・運営、「デイリーポータルZ」や次世代型ライ
 ブハウス「東京カルチャーカルチャー」のマネジメント及び事業化を担当。
 今回は、地域に点在している歴史・文化の関連資料を洗い出してデータ化し、既存資料だけで足りな
 い場合は取材・記事(コンテンツ)化、データ化した資料の短期的・中期的な利活用アイデア、海辺を
 中心とした鴨川の魅力の読みやすいPR誌(A5・8P程度)のデータ入稿を依頼。



小島 由光 (こじま よしみつ)

地域活性化・特産品ブランディング・飲食店コンサルタント



市原市出身。2000年スーパーソニック創業。3次産業(流通・外食)マーケティング、コンサル
 ティングをはじめ、地域活性化、地域振興活動を中心に1次産業(生産者)活性化と2
 次産業(製造加工業者)の商品ブランディングを行う。6次産業化は流通・外食の視点のコンサル
 ティングが特徴。飲食店ではコンセプト計画を重要視し、経営全般を指導。商業施設
 飲食ゾーンコンセプト、新業態企画、経営改善などを手掛ける。具体的行動計画を行う指
 導の評価が高い。長崎県五島列島の地域活性化を目的とした活動「五島列島支援プロ
 ジェクト」を2009年8月に立ち上げ現在も活動中。水産物の首都圏流通をはじめ特産品開
 発プロデュース、観光誘致、重要文化的景観保全活動、五島カトリックの歴史継承を行
 う。執筆、講演多数。「緑提灯」店の経営相談。盛和塾塾生。内閣府地域活性化伝道師。



市川 正秀 (いちかわ まさひで)

地域活性化プロデューサー、燻製調味料製造、食品加工コンサルタント

木更津市在住。学生時代は機械工学を専攻、その後ランドスケープデザイナー、飲食店オーナーシエフを経て、「調味
 料を燻製する」という新しい発想で液体燻製プロセス技術を開発した異色の経歴の持ち主。「かけるだけ」「混ぜるだ
 け」で燻製の香りを表現する無添加加工の燻製調味料のパイオニアとして新しい食のシーンを展開。その傍ら2017年
 にキリンビールが東日本大震災を契機にスターとした全国規模で地域の食と人を繋ぐ「地域創生トレーニングセンター
 プロジェクト」の地域活性化プロデューサーに選ばれ、全国のFWIに参加。深く、幅広い、異能の人脈を構築。



武田 昌大(秋田県北秋田市) 株式会社kedama 代表取締役
 トラクターに乗る男前農家集団「トラ男」を結成し、食べ手と作り手の繋がりを作るべ
 く、首都圏でのイベント開催やこだわりの厳選米を産地直送するウェブを運営。また
 「年貢を収めて村民に」で「シェアビレッジプロジェクト」を創設し、秋田県五城目町と
 香川県三豊市仁尾町の全体運営に携わる。今後全国展開予定。



小池 秀明(群馬県高崎市) 有限会社小池 代表取締役
 家業の燃料販売店を営む傍ら、屋台村やロックフェスの運営に携わる。2009年には屋
 台村運営メンバーであった若手経営者7名と共に合同会社を立ち上げ、跡地について
 でも手ぶらでまちなかBBQが楽しめる飲食施設、「高崎フィールドアウトネットBBQ
 PEOPLE」を開業。今はシェアスペースやシェアオフィスとして活用。



中川 裕子(富山県南砺市) foodmeet design OCATTE 代表
 本業である美容師の傍ら、南砺市をはじめとする富山県や北陸エリアの郷土料理
 を継承する食のプロデュースグループ「food meet design OCATTE」の代表を務め
 る。南砺のこだわりの野菜やお米を使った料理や加工品を作る加工組合の運営
 のほか、様々なシーンとコンセプトに合わせたケータリングを展開している。



株式会社LOCAL(ラコル) 横田賢代表取締役
 「ローカルの溢れる「魅力」をドラフトする」Regional Revitalization: 農業総人口の
 増加を目的とした「Farmers」プロジェクト。6次化による食品のプロデューサー、
 リージョン・ブランド戦略のデザイン & プロデュース ■Outdoor Theater Japan: コンテ
 ンツ×地方の魅力を「劇場化」し、人との出会いやつながりの場をつくらせて「プロ
 ジェクト」。 ■Advertising Agency Business: 映像制作、コミュニケーション戦略・企画。

鴨川市 海辺エリア事業 開発プロジェクト（仮）スケジュール（案）

<p>2018年 12月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海辺エリア視察 環境分析 ・マーケティングリサーチ結果分析 (エリア特性・産業・人口動態・農水産物生産・医療環境・観光 etc) ・与件整理
<p>2019年 1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ/マルシェ（農水産物生産流通販売計画/運営事業コンセプト） ・ショップ事業（方向性/可能性）集客コンセプト検証及びリサーチ ・海岸立地活用計画（方向性/可能性）集客コンセプト検証及びリサーチ ・保育/介護ステージ（人口動態を踏まえた市民にやさしいまちづくり計画構想） ▼ ・イベント（集客/運営 魅力あるまちづくり計画構想） ・基本構想開始 ・開発プロジェクト（仮）基本コンセプト計画構想開始
<p>2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ/マルシェ（商業施設/店舗/飲食店）基本コンセプト計画立案 ・ショップ事業（商業施設/店舗/飲食店）基本コンセプト計画立案 ・海岸立地活用計画（方向性/可能性）基本コンセプト計画立案 ・保育/介護ステージ（市民にやさしいまちづくり計画構想）基本コンセプト計画立案 ▼ ・イベント（魅力あるまちづくり計画構想）基本コンセプト計画立案 ・基本コンセプト計画（案） ・事業計画（案）
<p>3月</p>	<p>(再検証・修正)</p> <p>▼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本コンセプト計画決定 ・プロジェクトマネジメント事業計画 ▼ ・詳細計画開始・実行

181122 鴨川市の観光振興に向けたリサーチに関するメモ

福知山公立大学地域経営学部

佐藤 充

【観光地経営に基づくビジョン・戦略策定までのプロセス】

- (1) 観光地及び観光地を構成する要素の現状把握
- (2) 観光者のモデル化
- (3) 観光地及び観光者を取り巻く諸動向の把握
 - ➔ 観光振興に向けたビジョン・目標・戦略の策定へ

【観光地及び観光地を構成する要素の現状把握】

- (1) 観光地全体の現状把握
 - 観光入込客数（国内・訪日外国人）、観光消費額、観光関連産業の売上高、地域への経済波及効果
- (2) 観光地を構成する要素の現状把握
 - ①中核資源
 - 観光者を誘引できる地域固有の観光資源（自然・人文・複合資源）とその評価
 - ②観光支援サービス
 - 観光案内所の量・質、現地ツアーの量・質、観光イベントの量・質、観光案内マップの量・質、観光案内サインの量・質、休憩所やトイレの量・質、宿泊施設の量・質、飲食店の量・質、商業施設の量・質、交通網の整備状況、各交通手段の運行本数・頻度（利便性）、緊急医療体制の整備状況、従業員満足度
 - ③周辺環境
 - 景観、雰囲気、治安、地域住民の意向・満足度

【観光者のモデル化】（*印を付した項目はビッグデータの活用可）

- (1) 観光者の属性
 - 性別、年代、居住地、同行者の関係性
- (2) 観光者の行動*
 - ①移動：来訪のルート、来訪の交通手段、市内・域内での回遊ルート、市内・域内での交通手段、域外への移動ルート、全行程の日数、立ち寄り箇所
 - ②訪問：訪問目的、訪問形態、訪問回数、訪問場所、各場所での滞在時間
 - ③宿泊：日帰り・宿泊の有無、宿泊場所・タイプ、予約時期、宿泊金額、宿泊日数
 - ④消費：消費金額、消費品目、消費場所

- ・観光者の意思決定* (≒消費者の購買行動プロセスモデル)
 - ①認知：認知の媒体（何から知ったのか？）
 - ②関心：興味・関心の対象（何に興味・関心を持ったのか？）
 - ③検索：検索の対象（何を検索したか？）、検索の媒体（何で検索したか？）
 - ④比較：比較の対象（何と比較したか？）
 - ⑤検討：検討における重視ポイント（何を重視して検討したか？）
 - ⑥購入：購入した財・サービス（何を買ったのか？その理由は？）
 - ⑦共有：発信の有無とその対象（発信したのか？何を発信したのか？）
 - ⑧評価：満足度（満足したか？）、推奨意向（誰かに薦めたいか？）、再訪意向（また訪問したいか？）

【観光地及び観光者を取り巻く諸動向の把握】

- ・消費者の動向：経済的余裕、時間的余裕、関心、意識、ニーズ
- ・観光のトレンド：ツーリズムの目的・形態、金銭的負担
- ・旅行者の動向：国内旅行者の動向、訪日外国人の動向
- ・技術の動向：ソサエティ 5.0、キャッシュレス、シェアリング、MaaS ほか

デジタルアーカイブからの提案

支援1) 地域資料の調査及び収集

1. 歴史・文化に関する地域資料洗い出し及びデータ所在一覧を作成します。
2. 資料所有者と調整し、資料コンテンツ（ローデータ）の収集を行います。

※権利関係の処理は貴市にてお願いいたします。

支援2) 不足コンテンツ補充のための取材及び作成

1. 支援内容1)の実施後、不足しているテーマに関して、関連施設や地域識者に取材し、新規コンテンツとして作成します。

※取材先に関しては、貴市よりご提供ください。

支援3) 地域資料の利活用提案

1. 短期利活用として、収集した歴史・文化情報を素材に、観光拠点向けの小冊子をご提案します。
2. 中期利活用として、「かもナビ」との連携など、貴市の観光戦略に沿った利活用施策アイデアと、資料の管理・保管方法についてご提案します。

スケジュールと稼働スタッフのイメージ

	11月	12月	1月	2月	3月
全体共通	ご発注 手続き	▲ 定例MTG	▲ 定例MTG	▲ 定例MTG	▲ 定例MTG
支援1) 地域資料の調査及び 収集		・ディレクター	<div data-bbox="762 817 933 1182" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ▲ 想定納品物： ・地域資料一覧 ・既存資料コンテンツ (ローデータ) </div>		
支援2) 不足コンテンツ補充 のための取材及び作 成				<div data-bbox="885 212 1061 851" style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px;"> ・ディレクター ・ライター ・カメラマン </div>	<div data-bbox="1013 190 1109 515" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ▲ 想定納品物： ・追加コンテンツ </div>
支援3) 地域資料の利活用提 案					<div data-bbox="1141 212 1252 515" style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px;"> ・ディレクター ・デザイナー </div> <div data-bbox="1260 156 1428 515" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ▲ 想定納品物： ・利活用提案 ・小冊子ラフデザイン ・利活用アイデア提案 </div>

鴨川 海の体験塾



鴨川市前原・横渚海岸の魅力を発信し好奇心を刺激
「楽しそう！面白そう！行ってみたい！参加したい！」と
思うような体験プログラムを市民参加で開発、そして実現へ。

第3回 海辺の体験プログラム構築ワークショップ

テーマ：

○「鴨川的『村づくり』地元資産活用 フィールドワーク（前編）」

日時 2018年12月21日（金）
18時～20時

会場 鴨川市市民会館
鴨川市横渚808-33
☎04-7093-1131

定員 20名※定員になり次第締切らせて頂きます
(15歳以上で体験プログラム構築に意欲のある方)

申込締切 12月17日（月）17時まで

講師 橋村 和徳様
株式会社ヴィレッジインク代表

参加
無料

～講師プロフィール～



橋村 和徳 (Kazunori Hashimura)
株式会社VILLAGE INC代表

1973年生まれ、佐賀県唐津市出身。
東京の大学を卒業後、テレビ局3年、上海勤務
を含むITベンチャー8年の会社勤務を経て、
2009年に帰国し伊豆下田へ移住。
アウトドアベンチャーとしての活動を開始し
2011年に「VILLAGE INC.」を設立。
船でしか行けない1日1組のキャンプフィールドを
皮切りに、地域の自然資産を生かした『空間』
と『非日常体験』でもって感動の時を提供できる
事業「Villaging ヴィレッジイング」(村づくり)を
全国で手掛けている。

※終了後、懇親会を予定しております(会費制)

◎次回開催は2019年1月18日(金) 予定

【お申込・お問合せ】鴨川観光プラットフォーム(株)
TEL：04-7093-2461（9時～17時まで、土・日・祝日除く）
mail：kamogawa.kankou.pf@gmail.com

主催：鴨川観光プラットフォーム(株)

◆受講申込書

参加者氏名		年齢	
事業者名			
電話番号			
メールアドレス			
ご職業または 実施している 事業内容			
実施したい 体験プラン案			

※上記内容は本事業以外で使用することはございません。

【申込み・問い合わせ先】

先着順

鴨川観光プラットフォーム(株) 担当：小澤

FAX：04-7093-2462

MAIL：kamogawa.kankou.pf@gmail.com

締め切り：2018年12月17日（月）

※申込者多数等でご参加頂けない場合のみ、こちらからご連絡させていただきます。
※やむを得ない事情により内容の一部及び中止になる場合があります。

工 程 表 (案)

プロジェクト名		事業者		開始日		完了予定日		作成者		作成日				
前原横濱海岸周辺の魅力づくり		鴨川市観光プラットフォーム株式会社		H30.10.1		H31.3.22		鴨川市観光プラットフォーム株式会社		H30.12.12				
内 容	担当	補助①	補助②	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	備考
1 マリンスポーツ等レクリエーション機会							●	→				→		ピーチサッカー・パ レー
2 備品、資材等の購入							●	→				→		ピーチボックス
3 株式会社モンベル社訪問				○										第三新生合同丸
4 鴨川"海辺"倶楽部 募集要項作成							●	→						
募集告知							●	→						
5 海辺の体験プログラムの開発							○	○						
説明会開催							○	○						
講師への依頼							○	○						
開発ワークショップの開催							○	○						アンビュース社
6 専門人材の招聘							○	○		10/19				橋村和徳氏
専門家候補人材の推挙							●	→						
専門家人材の確定							●	→						
専門家候補への依頼							●	→						
7 担い手の公募と育成							●	→						
募集内容の検討							●	→						
募集内容の決定							●	→						
説明会の開催							●	→						
募集の開始							●	→						募集開始
8 広報プロモーション活動							●	→						
カモ旅サイトの改修準備							●	→						
カモ旅ナビ映像の制作							●	→						
体験プログラムネット販売							●	→						
TV番組「ダマしてごめん」収録							○	○						
							○	○						

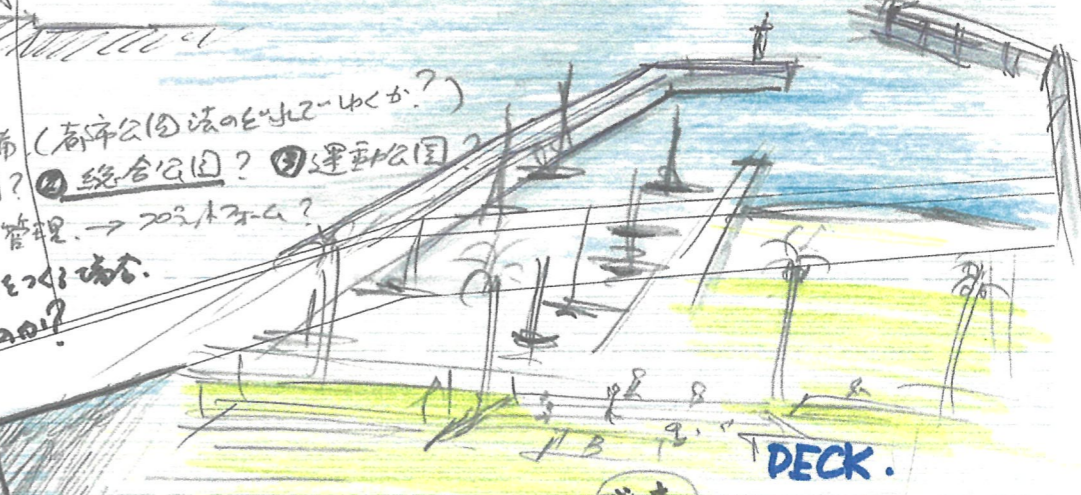
ビーチBOXを完成させる。
南の島のコンテナ風のテナントビル
と北の島のビーチを700坪に拡張!

- ビーチ利用
- ・カーフェイル
 - ・カープロ
 - ・ビーチカー
 - ・バー
 - ・ビーチBOX
 - ・BBQ

斜面の活用
2024年
あちが色んなのぞ!

公園として整備 (都市公園法の枠内か?)
① 地蔵公園? ② 総合公園? ③ 運動公園?
* PFIによる管理 → 2024年?
* 将来箱物に活用
公園B-001?

本町並み・新町並み
WATERFRONT
SPA

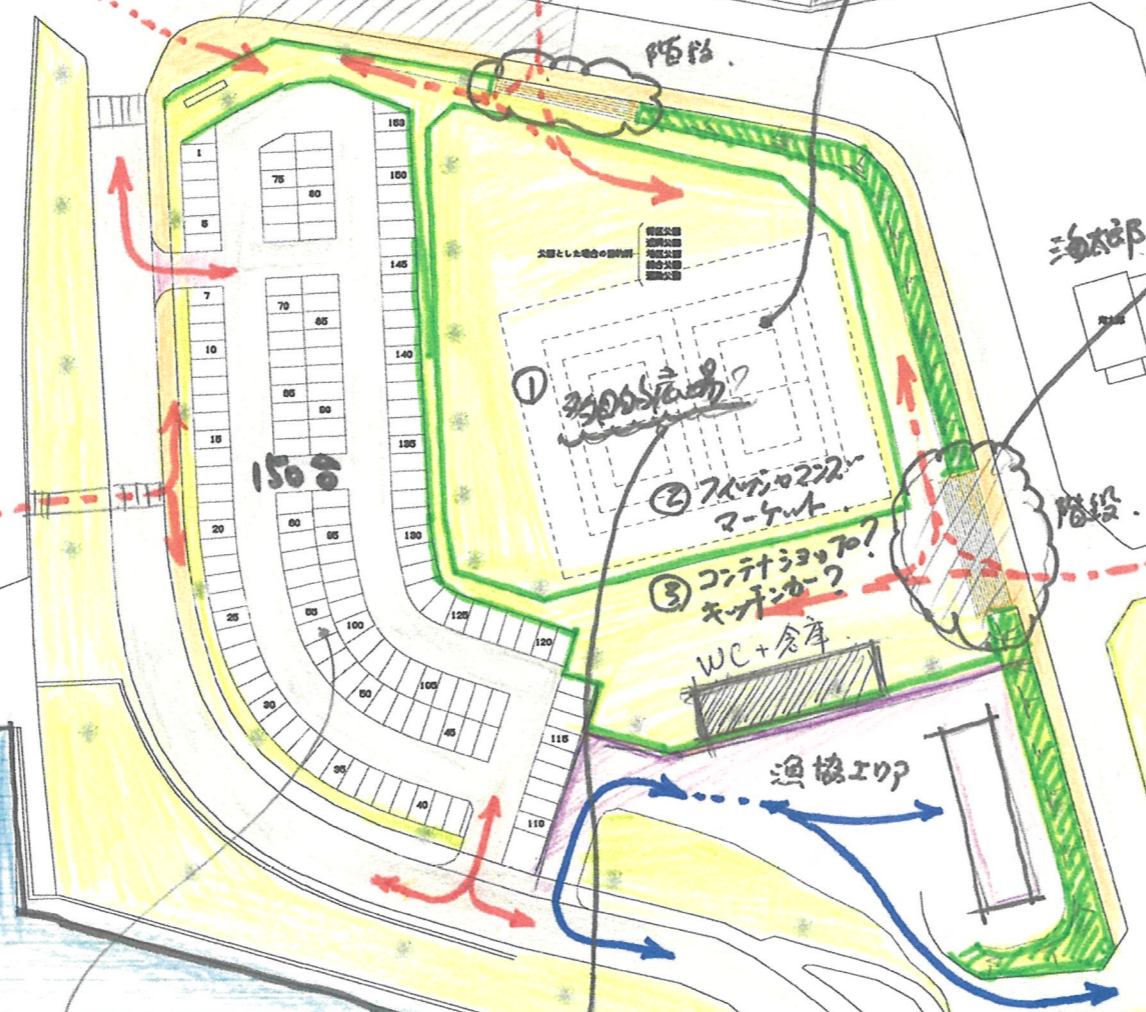


ここに海エの地、大々デッキ
恋人達、たのしみ階段

沿岸の占有許可をとり
ビーチを拡張

建築物FNG!
工作物の占有許可をとり!

コンテナを700坪に拡張
常設 → BBQ
飲食店



港への直接アクセス

駐車場=150台でいい

- ① 2/10のPとして
- ② シーサイドのP
- ③ リバーサイドのP
- ④ 没協のP

- ・ 鴨川合同業
 - ・ 会社
 - ・ 球技場等、etc...
 - ・ コンテナ → テナント
- 朝市

漁業用岸線の確保

漁業の町、鴨川市!
定置網、アグリ、釣具、エビ、ハマグリ、シキ etc.
→ 7月の修理等、底層スペースが必要!!

港へ